

製品名: リン酸化 TrkB (Tyr705) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02879**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 92 kDa; Observed MW: 140,90 kDa

抗原情報

遺伝子名	NTRK2
別名	NTRK2; TRKB; BDNF/NT-3 growth factors receptor; GP145-TrkB; Trk-B; Neurotrophic tyrosine kinase receptor type 2; TrkB tyrosine kinase; Tropomyosin-related kinase B
遺伝子 ID	4915
SwissProt ID	Q16620
免疫原	ヒト TrkB の Tyr705 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

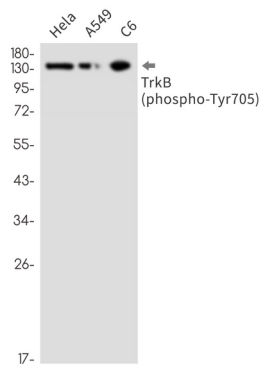
背景

Trk 受容体チロシンキナーゼファミリーは、TrkA、TrkB、TrkC から構成されます。これらのファミリーメンバーの配列は高度に保存されていますが、それぞれ異なる神経栄養因子によって活性化されます。TrkA は NGF、TrkB は BDNF または NT4、TrkC は NT3 によって活性化されます。TrkA は増殖を制御し、神経系の発達と成熟に重要です。TrkA の点変異、欠失、染色体再編成 (キメラ) は、リガンド非依存性受容体の二量体形成と TrkA の活性化を引き起こします。

研究分野

神経科学

画像データ



Phospho-TrkB (Tyr705) 抗体を使用した HeLa、A549、C6 溶解物中の Phospho-TrkB (Tyr705) のウェスタンプロット分析。